

令和4年 駒ヶ根市教育委員会 第8回定例会 次第

令和4年7月29日(金) 午後2時30分
駒ヶ根市役所 本庁舎 第5会議室

- 1 開 会
- 2 教育長報告
- 3 事業報告及び事業計画 P 3
 - ・ 定例教育委員会 8月23日(火) 午後2時 南庁舎2階 大会議室
- 4 審議案件 P 5
 - (1) 補正予算(第5号) について
- 5 協議事項 P 6
 - (1) 第1回総合教育会議について
- 6 報告事項 P 7
 - (1) 休日部活動地域移行について P 7
 - (2) 令和4年度二十歳を祝う会及び令和2年度成人式(代替イベント)について P 9
 - (3) 行事共催等承認申請の専決処分について P 12
- 7 その他
- 8 閉 会

令和4年度 第4回駒ヶ根市定例教育委員会 7月29日(金)

「へなへなに こしのめけたる 団扇(うちわ)かな」 久保田万太郎

季語：団扇

意味：あまりの暑さのためによくよく使いこなされた団扇がへなへ
々な状態になっているよ。



★ 今年も厳しい猛暑が続いている。昔から暑さをしのぐ道具として団扇が用いられてきた。今ではエアコンといったところだろうが、原始的であっても暑さしのぎには、見た目にも団扇が大活躍する場が残っている。

世の中デジタル全盛だが、過日のauのような不具合が出たら、何にもできない状態が続く現実がある。猛暑の中、熱中症対応にエアコンが教室内にも欠かせなくなった。

しかし、ここにある団扇のようにアナログの利用価値も経験しておくことが、緊急事態には大変有効になってくる。アナログ、デジタル双方のいいところ取りの利活用が現場でも求められている。

< 脳の発達シリーズ >

◆先達の教え 養老孟司

「自分という唯一無二の作品を創り上げよ」

- 自分の物差しを持たない人は、すぐに他人と比較したがらる。
- 人というのは一人ひとり異なる存在であり、他人と比較することには何の意味もない。誰もが、イチローや大谷翔平にはなれないのに、比較して自分がないものを求めるから辛くなるのだ。他人と比べないためには、自分が夢中で打ち込めるものを見つけることだ。
- 学生が、主体的に学ぶ姿勢に欠けることを嘆く向きもあるが、それは与え過ぎるからだ。
- 何事も体を動かし、五感を駆使して取り組んでいれば悟るものがあり、それがどこかで人生に通じていたりもする。それが発見というもの。発見の真の価値というのは、知らなかった自分が知った自分に変化するところにある。
- 私が勧めるのは、デフォルト（基本設定）ではない脳の働きを育てることである。有効なのが、一見無意味に思われる作業に黙々と没頭する時間を持つこと。日常のありがたさを心に刻みつつ、その膨大な余白を自由に埋めて、ぜひとも自分というかけがえのない作品を創り上げてほしい。

♥ 二十代をどう生きるかというテーマに載せた文であるが、二十代どころか、今の私たちにもズンと響くアドバイスである。自分の物差しについては、まさに自身の不動軸を持つことである。横並びが大好きな日本人だが、自分のよさを隠して（消して）まで横に並ぶ努力をする必要はないことに、ぼつぼつ気づいてほしいものだ。

◆ある脳科学者の言葉に触れて

東京大学大学院総合文化研究科教授 酒井邦喜

紙の本が脳を創る ～脳を鍛える習慣を失わないために～

◆便利さと引き換えに退化していく脳

- 言語脳科学（言語を中心に人間の脳の構造と機能を研究する分野）では紙媒体と電子媒体で脳に与える影響に明確な違いがある。
- 本の内容に直接関係のない手掛かりを含めて、紙の本は電子書籍よりも遙かに豊かな情報を脳に刻んでくれる。
- 検索して得られた情報は、様々な書物や資料を調べ、自分自身の頭で考えて導き出した知識とは、質的に異なる。

⑩インターネット検索で上位に現れる情報が役立つとは限らない。少し検索しただけで内容を鵜呑みにするのは危険。その点を用意してインターネットを活用したとしても、だんだん自分の頭で物事を考えなくなっていく。便利さと引き換えに、脳は確実に退化していく。

⑪大学の授業に筆記用具やノートを持ってこなかったり、板書やパワーポイントの写真をスマートフォンなどで撮る以外にメモを取ろうとしない学生が増えている。電子媒体の利用とともに、手書きで文字を書く習慣が急速に失われることで、時間をかけて自分の考えを的確にまとめ、相手に伝えるという力が衰えてきている。

⑫まずは教科書を何度も読み返し、要点をノートの手書きでまとめるという習慣を取り戻す必要がある。

○学習は、見聞きしたことについて考え、書き留めるというマルチタスクによって成り立つ。



◆言語脳科学から見る読書と会話の意義

○脳に入力される情報量を比較すると、映像・音声・文字の順に減少する。

○文字のように情報量が少ないほど、脳は言語野の4領域（音韻・単語・文法・読解）を総動員して、足りない部分を想像力で補おうとする。そこに読書で想像力を培う意義がある。

○メールよりも電話、電話よりも対面の会話の方が、情報量が多く、脳が鍛えられる。

⑬「適度に少ない情報の入力」と「豊富な情報の出力」の両方が必要。

要は十分な読書と会話を楽しむこと

⑭多くの人とのコミュニケーションを円滑にするようにつくられた SNS。実際には自分と他人との間に壁をつくったり、自分の世界に引きこもってしまうことにもなっていました。それは文字の力を過信して、想像力で補うべき部分を放棄したためだ。

◆自分の頭で考え、創造する力を取り戻すには

○大切なのは紙の媒体とのバランスではなく、両者の主従関係を明確に活用すること。

⑮じっくり勉強したり、熟読したりという場合は、紙の本とノートに限る。

○得た情報の吟味には十分な時間をかけて、批判的に取捨選択する力を養うべきだ。

○創造することは、人間の脳に備わる最高次の知的能力であり、人間はそのことに最大限の生きがいや楽しみを覚える生き物だ。

⑯自らの脳を鍛え、日々その能力を更新するには、紙の本の読書を続ければよい。

⑰考える時間が脳を創り、人を創る。紙の本を読むことの大切さや素晴らしさ

♥少し長い引用だが、改めて紙媒体、読書が脳に与える影響が明確になった。読書により、考える力、批判的に取捨選択する力が養われるという。紙媒体との主従関係を明確にするという点もはっとさせられる指摘だ。子どものためになることを現場と共に考えていかなければならない。

《ちょっと立ち止まって》「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、朝刊の子どもの様子、資料

○大学の先生が理論偏重に陥らぬよう教育現場に率先して入るきっかけをつくられた故重松鷹泰先生。諏訪に勤務中、先生のご指導を受けた。先生は来校されると校庭で立ち止まり、すぐには校舎に入って来ないのが常だった。後に分かったのだが、鉄棒、砂場等、子どもの遊び込む状況を確認していたという。鉄棒がさびているようでは使用頻度が低いこと、砂場が固まっていれば子どもは利用していないこと等、つぶさに見取っておられた。先生が笑顔かどうか、私たちもドキドキしたことを思い出す。メモも一切取らず子どもを四六時中注視していて、質問するとその場の状況を VTR のように鮮明に話された。子どもの育ちや変容を実によく観察されていた。

○今思うと内から育つ芽を現場が大事にしているかどうかを厳しくチェックしておられたことになる。あの時点でもっと深く学ぶべきであったと後悔している。

7月分 教育委員会事務事業計画

2022年7月28日

曜日	時刻	事業内容	摘要
1	金	10:30 市政施行記念式典[本庁大会議室]	
		13:30 部課長会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
		園長会[保健センター第1会議室]	子ども課
2	土	13:30 社会を明るくする運動・青少年健全育成伊南地区研修会[赤穂公民館]	福祉課、社会教育課
3	日		
4	月	9:00 庁議[第3委員会室]	教育長、次長
		12:30 上伊那市町村教委連絡会及び研修会[宮田村]	教育長、教育委員、次長
		諏訪・上伊那地区社会教育委員会総会・合同研修会[伊那市]	社会教育課
5	火	10:30 南部市町村教委代議員会[南庁舎大会議室]	教育長、教育長代理、次長
		18:30 第2回市民総体実行委員会[南庁舎大会議室]	
6	水	9:30 校長会[赤穂南小]	教育長、次長、両課長
		18:00 県教委との懇談会[伊那合庁]	教育長
7	木	9:30 休日部活動地域移行検討会議[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
		14:00 県青少年補導委員会・補導センター研修会[リモート]	社会教育課
8	金	10:00 特別支援教育推進員訪問[教育長室]	教育長、子ども課
9	土	9:30 上伊那教育長部会[伊那市]	教育長
10	日	参議院選挙投票日	
		9:00 市民総体ホッケー体験会[ふるさとの丘]	
11	月	9:00 庁議[第3委員会室]	次長
		10:00 都市教育長会議[飯山市]	教育長、子ども課長
12	火	9:15 決算審査(子ども課・社会教育課)[第5会議室]	次長、両課
		19:00 第2回二十歳を祝う会実行委員会[]	社会教育課
13	水	県市町村教委連絡協議会代議員会[長野市]	
14	木	15:00 天竜かっぱ広場運営委員会[かっぱ館]	社会教育課
		15:30 第1回就園就学支援委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
		18:00 赤穂総合学科新校準備会[赤穂高校]	教育長
15	金	15:00 部活動地域移行県教委説明会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
16	土	10:00 ハッチョウトンポ観察会[南割公園]～17日	社会教育課
17	日	市民総合体育大会	社会教育課
18	月		
19	火	9:00 庁議[第3委員会室]	教育長、次長
20	水	13:30 指定管理者選定委員会[本庁第3委員会室]	次長、社会教育課
21	木	10:00 文化財審議会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
		15:00 子ども・子育て会議[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
22	金	18:30 スポーツ推進審議会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
23	土	13:30 公民館協議会 平和講座(満蒙開拓団)	社会教育課
24	日	市民総合体育大会(予備日)	
25	月	10:00 臨時市議会(予定)[議場]	教育長、次長
		終了後 庁議[第3委員会室]	教育長、次長
26	火	14:00 要保護ネットワーク会議[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
		15:00 いじめ問題対策連絡会議[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
27	水	19市保育所担当課長会[中野市]	子ども課
28	木		
		8:40 辞令交付[市長応接]	教育長、次長
29	金	14:00 子育てサポーター講座閉校式[南庁舎大会議室]	子ども課
		14:30 定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
		16:00 総合教育会議[南庁舎大会議室]	教育長、教育委員、次長、両課長
		PM 中学校北信越ホッケー大会[赤中] ～31日	社会教育課
30	土		
31	日		

8月分 教育委員会事務事業計画

2022年7月28日

曜日	時刻	事業内容	摘要
1	月		
2	火	園長会[]	子ども課
	18:00	広島市平和記念式典中学生派遣学習会[第3委員会室]	教育長、子ども課長
3	水	9:00 庁議[第5会議室]	教育長、次長
	13:30	部課長会[第5会議室]	教育長、次長、両課長
	14:00	市教職員夏期研修会[赤穂公民館]	教育長、教育委員、次長、子ども課
	18:30	人権教育推進協議会[赤穂公民館]	市長、教育長、次長、社会教育課
4	木	15:00 文化財団理事会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
5	金	13:30 市町村教委と県教委との懇談会(リモート)	教育長、教育長代理
		広島市平和記念式典中学生派遣事業(~6日)	子ども課長
6	土		
7	日	県知事選挙	
8	月		
9	火	14:00 上伊那教育長部会[伊那市]	教育長
	18:30	駒ヶ根ハーフマラソン実行委員会[南庁舎大会議室]	市長、次長、社会教育課
10	水		
11	木		
12	金		
13	土		
14	日	15:00 令和2年度 成人式(代替イベント)[文化会館]	市長、社会教育課
15	月	10:00 令和4年度 二十歳を祝う会[文化会館]	教育長、教育委員、次長、社会教育課
16	火		
17	火		
18	木		
19	金	13:30 部課長会[第5会議室]	教育長、次長、両課長
	13:30	光前寺庭園活用委員会[光前寺]	教育長、社会教育課
20	土		
21	日		
22	月		
23	火	14:00 定例教育委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
24	水	15:35 教育長講和[東中]	教育長
25	木	12:45 地域ぐるみで子どもを育てるフォーラム[いなっせ]	社会教育課
26	金	議会全員協議会(予定)	
27	土		
28	日	地震総合防災訓練	理事者、全職員
29	月		
30	火	9月議会開会(予定)	
31	水	9:30 市内校長会(9月分)[中沢小]	教育長、次長、両課長

令和4年度 一般会計補正予算(第5号)の概要

【一般会計補正予算(第5号)予算規模】 148,064千円 (15,130,144千円 → 15,278,208千円)

令和4年度 一般会計補正予算(第5号)

【歳出】

(単位:千円)

No.	課名	区分	内容	補正額	
7	子ども	コロナ	学校・保育所等給食の物価高騰対策事業 原油高・物価高の影響を受け、給食にかかる食材費が高騰しています。値上がり分を公費負担し保護者等の負担増にならないよう支援します。	補正額	5,174
			1. 学校給食分 (単位:千円)	特定 財源	5,174
			事業内容 一般会計の賄材料費へ予算措置、値上がり分3%を公費負担 【小学校】1食あたり9円増 (R4:1食あたりの給食費275円) 【中学校】1食あたり10円増 (R4:1食あたりの給食費315円)	一般財源	0
			事業費 3,727	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(補助率10/10)	
			(積算) 赤穂学校給食センター分 1,953 赤小828、赤中1,103、他22		
			赤穂南学校給食センター分 1,138 東小610、南小507、他21		
			竜東給食センター分 636 中沢小151、東伊那小157、東中317、他11		
			開始時期 令和4年7月		
			2. 保育所分等 (単位:千円)		
			事業内容 公立は一般会計へ予算措置、値上がり分3%を公費負担 私立は値上がり相当分を補助		
			事業費 1,447		
			(積算) 公立保育所 1,014 8園、賄材料費		
			公立幼稚園 95 2園、賄材料費		
			つくし園 38 賄材料費		
			私立保育所・幼稚園 300 3園、補助金		
開始時期 令和4年7月					

令和4年度 第1回駒ヶ根市総合教育会議

令和4年7月29日

本庁 大会議室

1 あいさつ

市長

教育長

2 協議事項

(1) 令和4年度事業の推進について (P 1)

3 意見交換

(1) 子育て全力応援の状況について (P 5)

(2) ヤングケアラーについて (P 8)

(3) 部活動の地域移行について (P 9)

(4) その他

4 その他

2022年7月29日

部活動地域移行に係る現在の状況について

1. 当市の状況

＜市内部活動地域移行検討会より＞（7月7日開催） 7名参加

参集範囲：教育長・教育次長・子ども課長・スポーツ振興係長・教育総務係・市内中学校長

(1) 赤穂中学校より

①職員39名で24部活（運動系18文化系6）一部活に職員の二人配置ができない。これから生徒が減っていく、部活を減らさなければいけないが、急には減らせない。

②保護者の意識は両極に分かれてきている。

「もっと部活動をガチガチやってくれ」派と「部活動はもっとゆったり緩やかに」派の両極端に分かれている。

③教職員の意識も両極に分かれてきている。

休日部活動も積極的に「やりたい」と考えてるのは数名。部活動が地域移行になるのなら歓迎すると考える職員は多い。でも、現状では今まで通りと感じている。

(2) 東中学校より

①職員14名で6部活（運動系4文化系2）職員が少ないのでギリギリで回っている。

②陸上とバスケットには中核となる職員がいるが部活間の温度差は大きい。

③職員の声としては、国がいろいろ言っても、結局は今と変わらないだろうとの思い。

④保護者の中には、今回の地域移行により、子どもたちにとっては部活動の選択肢が広がると考えている方もいる。

⑤部活動が拠点校方式になったとすると保護者の負担が増えると予想する方もいる。

⑥拠点校方式となると、競技力の高い子には影響が少ないが、すそ野になる子にとっては厳しい状況になる。試合に出られる可能性も低くなることも考えられる。

⑦土日の部活動が平日の延長ではなく、普段できないスポーツに親しみという形ならば選択肢も広がる。

(3) 意見交換の中で出された意見

①部活動の目標である「人間形成」の部分はどうか。国はこの大義を捨てるということか。勝ち負けよりも大切なものがある。部活動の質を変えていく必要もあるか。

②教員の負担を減らして授業へ集中ということとなると、土日の部活をやらない分、授業の質が高くなるはず。そこへの期待には応えられるか。

③授業では居場所がないが、部活動で居場所を見つける子どももいる。そういった意味での部活動も大切にしたい。

④昔の指導者の勝利至上主義では困る。地域の指導者が部活動の指導者として必要となるスキルを持つことが大切となってくる。

⑤駒ヶ根市はスポーツ少年団があるが、これを生かしていけないか。

⑥先生方の中には部活動を生きがいと感じている方もいらっしゃる。こうした方々のやりがいも大切にしていきたい。

- ⑦保護者へは部活動説明会等の中で少しずつ話をしていく必要がある。（職員が指導者ができないなら、保護者が指導者として協力してくれるか）
- ⑧各部活動の生の声を聴いて現状を確認することもやっていく必要がある。
- ⑨都市部向けの今回のプランでは中山間地の市町村には合わないのではないか。
- ⑩総合スポーツクラブや大学などの受け皿の素地のないところはどうすればよいか。
- ⑪お金の問題に関してはどう考えていくか。受益者負担となると保護者の負担は大きくなる。（貧困家庭への配慮が必要となる）

2. 上伊那8市町村の状況

＜駒ヶ根市部活動地域移行学習会より＞（7月15日開催） 39名参加
 参集範囲：上伊那8市町村 各教育委員会担当者・上伊那郡中学校長・県教委・南信教育事務所

(1) 指導者確保の難しさ（受け皿の問題）について

- ①自治体の大きさによって、自治体単独での指導者確保は難しいところもある。
- ②種目によっては指導者が見つからない。
- ③結局、教職員の兼職兼業に頼らないと回らない。
- ④学校の職員が兼職兼業で指導者を引き受けるとしても、勤務先で受けるか、居住地で受けるかも難しいところ。職員の異動によっても状況が変わってしまう。
- ⑤自治体単独での指導者確保が難しいとなると広域で考えなくてはいけない。その際、どういうエリアになるか。市町村レベルで考えるのは無理ではないか。

(2) 中体連の在り方・中体連への参加の仕方について

- ①中体連の大会の目指す姿を変えていくことが必要か。
- ②競技力を競う大会（全国大会等）は別の大会で考えていくべきか。
- ③スイミングなど個人参加のスポーツは「地域のスポーツ」へ移行していく方向か。中学校の名で出場してもクラブチーム・社会体育で指導している場合も多い
- ④中体連への合同チームでの参加の基準は、緩和の方向へ向かっている。

(3) 費用（謝礼の問題）について

- ①試算では保護者負担が今よりもかなり多くなる。（会場費・謝礼など）
- ②受益者負担となると種目により保護者の負担は大きく違ってくる。

(4) その他

- ①地域、保護者へはどうおろしていくか。理解は簡単には得られない。
- ②地域や保護者へゼロから説明していく難しさがある。
- ③部活動の目的は「人間形成」。この大義を下すのか。民間にそれは担えるのか。
- ④活動中のけがの責任はどうなるのか。だれが負うのか。
- ⑤広域で取り組むとなった場合、エリアはどうするか、子どもたちの移動はどうなるか、費用はどうなるか。それを進める主体はどこか。
- ⑥指導者の資格はどうなるのか。公認指導者の資格が必要ではないか。
- ⑦指導者が日によって違うことを子どもたちはどうとらえるか。

令和4年7月29日

令和4年度二十歳を祝う会 次第

成人該当者371名
(実行委員 19名)
来賓 89名

1. 期 日 令和4年8月15日 午前10時開式
2. 場 所 駒ヶ根市文化会館(大ホール)
3. 日 程
 - 9:30 受付開始(ロビー)「駒ヶ根市の歌」をBGMで流す
 - 10:00 **オープニング**
「駒ヶ根太鼓演奏」(約10分・6~10人)

 - 10:12 開式の言葉(実行委員)
 - 10:13 激励の言葉 市長
 - 10:18 祝辞 ①市議会議員
②県議会議員
 - 10:28 祝電披露(実行委員)
 - 10:30 謝辞 実行委員長
 - 10:34 黙とう

 - 10:37 **ビデオメッセージ等** 約10分
思い出写真・恩師との問答(実行委員で検討中)
 - 10:50 閉式の言葉(実行委員)

令和4年7月29日

令和4年度 駒ヶ根市二十歳を祝う会来賓

役職	役割	座席	人数
(市長)	激励の言葉	主催者	1
(副市長)		主催者	1
(教育長)		主催者	1
市議会議長	祝辞	来賓	1
県議会議員	祝辞	来賓	1
市議会議員		来賓	14(議長除く)
教育委員		来賓	4
選挙管理委員委員長		来賓	1
社会教育委員会会長		来賓	1
区長		来賓	16
分館長		来賓	31(赤穂14、中沢12、東伊那5)
民生児童委員・主任児童委員 会長		来賓	1
青少年育成委員 会長		来賓	1
赤穂公民館長		(来賓)	1
中沢公民館長		(来賓)	1
東伊那公民館長		(来賓)	1
中沢支所長		(来賓)	1
東伊那支所長		(来賓)	1
該当者恩師(中学校卒業時の学級担任)		来賓	10

全89名

令和2年度成人式（代替イベント）次第

実行委員16名、成人該当者370名

1. 期 日 令和4年8月14日（日）午後3時開式
2. 場 所 駒ヶ根市文化会館（大ホール）
3. 主 催 実行委員会
4. 日 程
 - 14：30 受付開始（ロビー）
 - 15：00 開式の言葉（実行委員）
 - 15：05 激励の言葉 市長
 - 15：10 あいさつ 実行委員長
 - 15：15 恩師からのメッセージ
 - 15：25 ステージ上での記念撮影（クラス毎）
 - 15：40 閉式の言葉（実行委員）（所要時間：約45分間）
5. 来 賓 恩師のみ
6. 準 備 品 通知、看板（ステージ上の横看板、玄関の縦看板）、
次第（A4両面、日程、恩師メッセージ）
7. スタッフ 実行委員、社会教育課職員、
（受付から実行委員が行うようにする。）

R4-8 定例教育委員会報告 行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	案件番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認
後援	4-040	長野県スポーツチャンバラ大会	長野県スポーツチャンバラ協会駒ヶ根支部	令和4年7月3日(日)	駒ヶ根市武道館	承認
後援	4-041	「令和4年度アカウミガメ放流ツアー」	特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議	令和4年9月10日(土)	磐田市竜洋昆虫自然観察公園ほか	承認
後援	4-042	ベースキャンプ	ベース	令和4年7月25日(月)	伊那市宮球場ほか	承認
後援	4-043	サッカー体験会	ジョイフルサッカークラブ	令和4年7月19日(火)	赤穂東小グラウンド・農業者トレーニングセンター	承認
後援	4-044	第62回長野県母親コーラスまつり	長野県母親コーラスまつり運営委員会	令和4年10月30日(日)	駒ヶ根市文化会館	承認
後援	4-045	駒ヶ根市郷土館 築100年記念事業	KOMAGANEアートプランの会	令和4年10月15日(土)	駒ヶ根市郷土館・駒ヶ根高原・赤穂公民館	承認
後援	4-046	第1回 いのちのWA!コンサートinこまがね	いのちのWA!コンサート実行委員会	令和4年11月13日(日)	駒ヶ根市文化会館	承認

共催 0 件
 後援 7 件
 協賛 0 件
 7 件

承認 7 件
 不承認 0 件
 協議中 0 件
 7 件